

2010年度

科目名	日本語と英語		
担当教員	溝口 健司		
配当	教福2	コード	12560
開期	通年	講時	月曜日2限
		単位数	4
授業テーマ	日本語と英語の諸相を比較することによって、それぞれの言語と文化の特質を探る。		
目的と概要	人間という同じ動物種の産物である以上、日本語と英語は言語の本質部分を共有している。しかしまた、日本語も英語も、それぞれが固有の地域で固有の文化・歴史を基盤として成立しているために、非本質部分で固有の性格をもつことも事実である。両言語の相違は、言語類型、語彙、語順、文構造、音韻体系、文字体系、情報構造、時間表現、場所表現、翻訳可能性、表現性、発想、論理性などの個々の領域において、またいくつかの領域をクロスした形で現れる。日本語と英語がなにを共有し、どの部分がどのように異なり、そしてそれはなぜなのかを考える。		
成績評価法	質疑応答における発言の質・量(50%)、および不定期試験(50%)によって評価する。		
テキスト	英語の論理・日本語の論理/安藤貞雄/大修館書店		
参考書	大修館英語学事典/松浪有ほか(編)/大修館書店 日本語百科大事典/金田一春彦ほか(編)/大修館書店		
履修に 当たっての 注意・助言			
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション (1)</li> <li>2. 個の論理と集団の論理 (1)</li> <li>3. 個の論理と集団の論理 (2)</li> <li>4. 個の論理と集団の論理 (3)</li> <li>5. 表現構造の比較 (1)</li> <li>6. 表現構造の比較 (2)</li> <li>7. 日本語の特質 (1)</li> <li>8. 日本語の特質 (2)</li> <li>9. 語彙の比較 (1)</li> <li>10. 語彙の比較 (2)</li> <li>11. 語順の比較</li> <li>12. 文構造の比較 (1)</li> <li>13. 文構造の比較 (2)</li> <li>14. 文構造の比較 (3)</li> <li>15. 総括 (1)</li> <li>16. オリエンテーション (2)</li> <li>17. 音韻体系の比較 (1)</li> <li>18. 音韻体系の比較 (2)</li> <li>19. 音韻体系の比較 (3)</li> <li>20. 文字体系の比較 (1)</li> <li>21. 文字体系の比較 (2)</li> <li>22. 主語と主題 (1)</li> <li>23. 主題と主語 (2)</li> <li>24. テンスとアスペクト (1)</li> <li>25. テンスとアスペクト (2)</li> <li>26. ダイクシスの比較 (1)</li> <li>27. ダイクシスの比較 (2)</li> <li>28. 社会言語学と翻訳 (1)</li> <li>29. 社会言語学と翻訳 (2)</li> <li>30. 総括 (2)</li> </ol>			